

やさしさに逢える

星野富弘

花の詩画展

in 宇都宮

母という文字の中に
 遠い昔の人よ
 あなたにも
 優しいお母さんが
 いたのでしょお
 時代は変わりましたが
 今の子供達も皆
 母が大好きです
 お母さんが大好きですよ



莓 ©Tomihiro Hoshino

2025

4/5 土 → 14 月 会期中 無休

開場時間 ▶ 午前10時～午後7時 (入場は午後6時30分まで)

入場料 ▶ 一般500円 小中学生、80歳以上無料 障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名無料

会場 ▶

福田屋ショッピングプラザ宇都宮店 3階大催事会場

栃木県宇都宮市今泉町237 Tel. 028-623-5111



特別協力：富弘美術館

主催：星野富弘花の詩画展を栃木県で開く会 共催：株式会社福田屋百貨店

後援：栃木県／宇都宮市／栃木県教育委員会／宇都宮市教育委員会／(福)栃木県社会福祉協議会／(福)宇都宮市障害者福祉会連合会／峰町キリスト教会／(公財)とちぎYMCA／(福)とちぎYMCA 福祉会／ワイズメンズクラブ国際協会宇都宮東クラブ／(株)下野新聞社／NPO法人障がい者福祉推進ネットちえのわ／栃木県女子体育連盟／認定NPO法人チャレンジド・コミュニティ／(一社)宇都宮観光コンベンション協会／宇都宮北ロータリークラブ／ひばりクリニック／認定NPO法人もうひとつの美術館／栃木県PTA連合会

協力：(株)偕成社／(株)Gakken／いのちのこば社／グロリアアーツ(株)／富弘美術館を囲む会／(一社)樹脂粘土 野の花・野草アート協会

ごあいさつ

群馬県みどり市立「富弘美術館」はテーマに『やさしさにいつでも逢える』を掲げて、星野富弘氏の作品を展示し、開設30年で700万人の来場者を迎えています。

花の詩画作家・星野富弘氏は中学校教師として赴任した2か月後、クラブ活動指導中の事故で頸髄を損傷して手足の自由を失います。しかし、生きる証を求めて口に筆をくわえて文字や絵を描くようになり、その作品に触れた人たちに大きな感動を与え、全国に多くのファンがいます。その作品展は日本各地ばかりでなく海外でも開催されています。

本県においては2000年までに8回開催されましたが、今回、福田屋百貨店を会場に25年ぶりの詩画展を開催する運びとなりました。

星野富弘氏は4月に惜しまれながら78年の生涯を終えましたが、残されたたくさんの作品を通して、いつまでも私たちに勇気とやさしさを伝えてくださることと思います。

ご家族、ご友人などとお誘いあわせの上、心豊かなひとときをお過ごしいただければ幸いです。

主催者 『星野富弘花の詩画展を栃木県で開く会』
会長 塚原 美唱

イベントのお知らせ

※ワークショップ参加料は当日講師にお支払いください。

4/5
日

午前10時10分～ **オープニングセレモニー**
場所：3階大催事会場前特設会場

先着100名様に
プレゼントがあります

午後1時30分～
2時50分 **ギャラリートーク**
場所：展示室

4/6
日

ワークショップ
午後1時30分～
2時50分 **樹脂粘土体験アート**
講師：樹脂粘土の花野草アート協会
樹脂粘土で「ツクシとスギナ」を作ります。
場所：3階大催事会場前特設会場
料金：3,500円



事前予約TEL ▶ 03-6825-6830

限定5組

受付時間：平日午前9時～午後5時 締め切り：4/3(木)午後5時まで

4/12
日

午前11時～
12時 **Ks(ケース) ミニコンサート**
場所：3階大催事会場前特設会場
ゴスペルクワイア Heaven's Joyのリードボーカル
KaoriとKazuyoによるデュオ。ゴスペルコンサート
や各種イベントにて息の合った演奏を届ける。
近年では小中学校でのミニライブやワークショップ
等も行い、ゴスペルの持つ希望のメッセージを
届けながら活動の場を広げている。



ワークショップ

午後1時30分～
2時30分 **ペーパークラフト体験「切り紙モビール」**
講師：パピアクリップ
たんぽぽ、てんとう虫の切り紙モビールを
作ります。



場所：3階大催事会場前特設会場
料金：500円
対象：小学校3年生以上（小学生は保護者同伴）

事前予約TEL ▶ 044-833-2552

限定12組

受付時間：平日午前9時～午後5時 締め切り：4/9(水)午後5時まで

4/13
日

ワークショップ
午前11時～
午後2時 **ディンプルアートで花を描こう**
講師：ディンプルアートインストラクター
ぬり絵感覚でスタンドグラス風の素敵な
作品が作れます。
場所：3階大催事会場前特設会場
料金：300円



当日どなたでも体験できます



星野 富弘プロフィール

- 1946年 群馬県に生まれる。
- 1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。
- 1981年～ 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。
- 1991年 群馬県勢多郡東村（現みどり市）に村立富弘美術館開館。
- 1994年～ ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。
- 2005年 （新）富弘美術館開館。
- 2021年 富弘美術館開館30周年。富弘美術館の入館者数が700万人を超える。
- 2024年 逝去。
みどり市名誉市民（第一号）の称号を贈られる。

詩画や随筆は教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開催している。著書多数。

主な著書

- 「新装版 愛、深き淵より」
- 「新編 風の旅」「風の詩」
- 「詩画とともに生きる」 (Gakken)
- 「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」
- 「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「種蒔きもせず」
- 「足で歩いた頃のこと」 (偕成社)
- 「山の向こうの美術館」 (富弘美術館・偕成社)
- 「銀色のあしあと」「たった一度の人生だから」「こぼれの雫」
- 「いのちより大切なもの」「あの時から空がかわった」 (いのちのことば社)

ミュージアムショップのご案内



3階大催事会場出口付近で販売します。

会場のご案内



福田屋ショッピングプラザ宇都宮店 3階大催事会場

栃木県宇都宮市今泉町237 Tel. 028-623-5111
無料シャトルバス運行中

ウェブサイト ▶ [福田屋ショッピングプラザ宇都宮店](https://www.fukudaya.net/store/utsunomiya.html)

<https://www.fukudaya.net/store/utsunomiya.html>